

1-2 年目研修マニュアル

聖マリアンナ医科大学病院薬剤部
2026 年 1 月
第 1 版

目次

1. 一般目標	1
2. 行動目標	1
(1) 調剤・注射業務	1
(2) 麻薬業務	1
(3) 手術部業務	1
(5) 医薬品情報業務	2
(6) 抗がん剤業務	2
(7) TPN・製剤業務	2
(8) 薬物治療の知識	2
3. 方略	2
【1年目研修】	2
(1) On the Job Training	2
(2) Off the Job Training	3
【2年目研修】	3
(1) Off the Job Training	3
4. 研修担当者	4
5. 付録	4

1. 一般目標

薬学部で身につけた知識・技能・態度を用いて、臨床薬剤師として必要な基礎レベルの資質・能力を身につける。

2. 行動目標

(1) 調剤・注射業務

- 1 代表的な薬剤の用法用量を理解し、処方監査を一人で行える。
- 2 院内の取決めを理解し、適正に調剤が行える。
- 3 院内の取決めを理解し、請求伝票、処置伝票など処方箋以外の薬剤払い出しを適切に行える。
- 4 関連法規を理解したうえで、麻薬、毒薬、特定生物由来製品等の特殊薬品の管理を適切に行える。

(2) 麻薬業務

- 1 麻薬管理における薬剤師の役割を理解する。
- 2 担当薬剤師の指導のもと、麻薬及び向精神薬取締法と院内の取決めを理解し、返品麻薬を適切に処理できる。
- 3 担当薬剤師の指導のもと、麻薬及び向精神薬取締法と院内の取決めを理解し、他の医療従事者に対して麻薬の取り扱いを指導できる。

(3) 手術部業務

- 1 手術室業務およびバランス麻酔等手術関連薬剤の役割を理解する。
- 2 担当薬剤師の指導のもと、麻酔科医の業務補助（PCA 調製等）を一人で行える。
- 3 担当薬剤師の業務を見学することにより、術前外来、入院支援での外来業務の役割・業務内容を理解する。

(4) 病棟・集中治療・TDM 業務

- 1 病棟担当薬剤師の業務を見学することにより薬剤部の業務内容を把握し、それぞれの業務の関連を知る。
- 2 治療の連続性を理解し、その中での病棟薬剤師の役割を考え、基本的な病棟業務を指導薬剤師の監督のもと行うことができる。
- 3 薬物治療モニタリングの考え方を学び、実際の患者で実践することができる。
- 4 救急・集中治療における中毒に関する問い合わせに答えることができる。
- 5 集中治療におけるルート管理と配合変化の問い合わせについて答えることができる。
- 6 TDM の基本的な考え方を理解し、血中濃度から処方提案することができる。

(5) 医薬品情報業務

- 1 医薬品採用の過程とオーダーリングシステムの概要を説明できる。
- 2 医療スタッフからの医薬品に関する質問の回答に必要な代表的な情報源を選び出し、必要な情報を抽出できる。
- 3 適応外使用医薬品の把握と評価について理解する。

(6) 抗がん剤業務

- 1 抗がん剤の調製方法について理解し、適切に調製することができる。
- 2 院内の取り決めに理解し、適切に薬剤の払い出しが行える。
- 3 調剤・調製や病棟業務を行う際に必要とされる、抗がん剤の基本的な知識を獲得する。
- 4 外来指導担当薬剤師の業務を見学することにより、基本的な外来化学療法 of 服薬指導の内容を理解する。

(7) TPN・製剤業務

- 1 TPN の調製方法を理解し、適切に調製することができる。
- 2 院内の取り決めに理解し、適切に請求伝票の払い出しを行える。
- 3 院内製剤の必要性と院内の取り決めおよび作成方法を理解し、適切に作成することができる。

(8) 薬物治療の知識

- 1 使用頻度の高い薬剤に関して、添付文書上の用法用量を理解することができる。
- 2 臨床業務の基盤となる Common disease に関して、病態生理や標準治療の知識を獲得する。
- 3 薬物治療の知識を、症例に適応することができる。

3. 方略

【1年目研修】

(1) On the Job Training (OJT)

前期：4月-8月

〔目的〕

・各課の基本的な業務を習得する

- 1 各課を以下の期間ローテーションする
必須期間：薬剤課：16週 化学療法支援課：2週 臨床薬剤課：2週
- 2 各課の研修を開始する際に、オリエンテーションを行い、研修目標を共有する
- 3 定期的に各課のチェックリスト等を用いて、必要な業務を習得する
- 4 各課の評価表を用いて評価を行い、フィードバックを行う

(資料①～⑤)

後期：9月-11月

〔目的〕

- ・前期で習得した業務を、独立して行える
- ・前期で行えなかった対物業務の習得する
 - 1 各課を以下の期間ローテーションする
必須期間：薬剤課（手術部：1週、麻薬業務：2週、NICU混注業務：1週、TPN・院内製剤：1週）、化学療法支援課：2週
 - 2 後半研修開始時にオリエンテーションを行い、研修目標を共有する
 - 3 定期的にチェックリスト等を用いて、必要な業務を習得する
 - 4 各課の評価表を用いて評価し、フィードバックを行う
 - 5 前半・後半を含めたOJT最終アンケートを行い、OJTの研修を見直す
(資料③, ⑤, ⑥, ⑦)

(2) Off the Job Training (Off JT)

新人勉強会

〔目的〕

- ・臨床業務の基盤となる Common disease に関して、病態生理や標準治療の知識を獲得する
 - 1 基礎編・応用編の1年間のスケジュールに沿って参加する
 - 2 各回でミニテストを行い、習熟度を確認する。各回でアンケートを行い、年に1回研修内容を見直す

お薬GPS

〔目的〕

- ・使用頻度の高い薬剤に関して、添付文書上の用法用量を理解することができる
 - 1 4月に課題を配布し課題を行う
 - 2 担当薬剤師にアポイントを取り、課題を共有する
 - 3 GPSの習得状況を臨床薬剤課の On the Job Training で評価する
 - 4 年に1回臨床薬剤課で研修内容を見直す

【2年目研修】

(1) Off the Job Training

2年目研修会

〔目的〕

- ・ 1 年目研修で習得した知識・技能を用いて、複合的な問題を持つ症例の薬物治療をモニタリングする

- 1 年3回のスケジュールに沿って行う

- 2 各回でアンケートを行い、年に1回研修内容を見直す

4. 研修担当者

- ・ 管理課へ研修担当薬剤師のリストを提出する（薬剤師向上加算）

- ・ 研修責任者：副部長または参事

- ・ 研修担当薬剤師：3年目以上の薬剤師とする

（条件：薬剤師として十分な病院経験を有し、研修内容に関して指導能力を有する常勤の薬剤師）

- ・ 研修領域の責任者（評価・フィードバックを行う）

調剤・注射

病棟

医薬品情報

化学療法（外来）

手術室

無菌製剤処理

5. 付録

Google ドライブ内 > 共有アイテム > 1, 2年目研修マニュアル関連資料参照。